

令和5年6月梅雨前線豪雨の概要【那賀川】

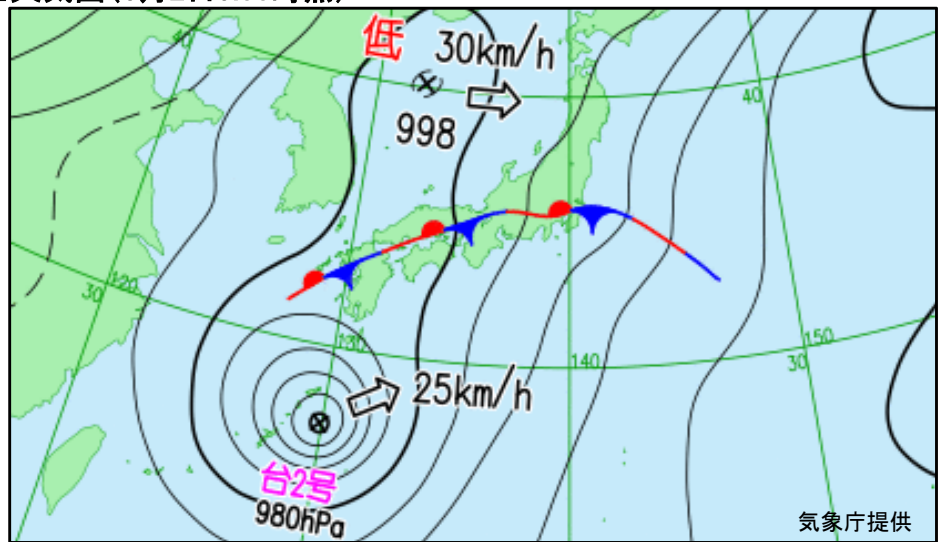
令和5年6月
那賀川河川事務所

※本資料における数値は速報値に基づくものがあるため、後日変更になる場合があります。

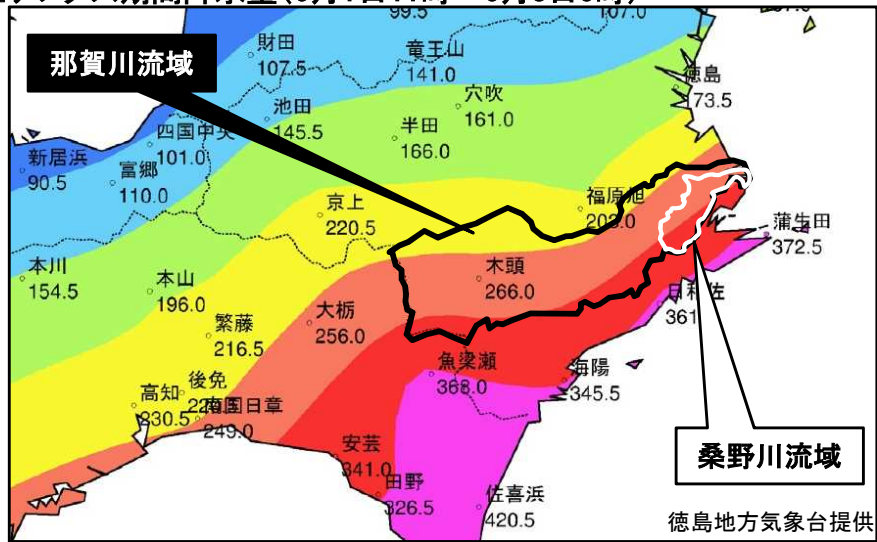
(1) 気象の概要について

- 梅雨前線が6月1日から3日にかけて西日本に停滞し、前線に向かって台風第2号周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだため、前線の活動が活発となり、徳島県内では大雨となりました。6月1日11時(降り始め)から3日5時までの降水量は、多いところで阿南市蒲生田で372.5ミリ、美波町日和佐で361.5ミリ、海陽で345.5ミリを観測。
- 6月1日12時から3日3時までの期間において、古庄上流域(那賀川上流域)における平均雨量の総雨量は約272mmを観測。
- 6月1日12時から3日3時までの期間において、大原上流域(桑野川上流域)における平均雨量の総雨量は約322mmを観測。

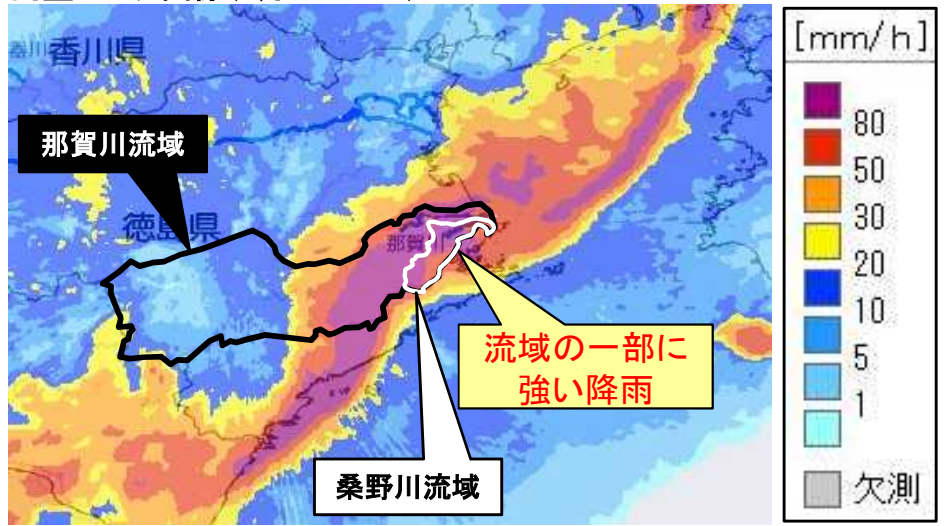
■ 天気図(6月2日9:00時点)



■ アメダス期間降水量(6月1日11時~6月3日5時)



■ 雨量レーダ画像(6月2日10:30)



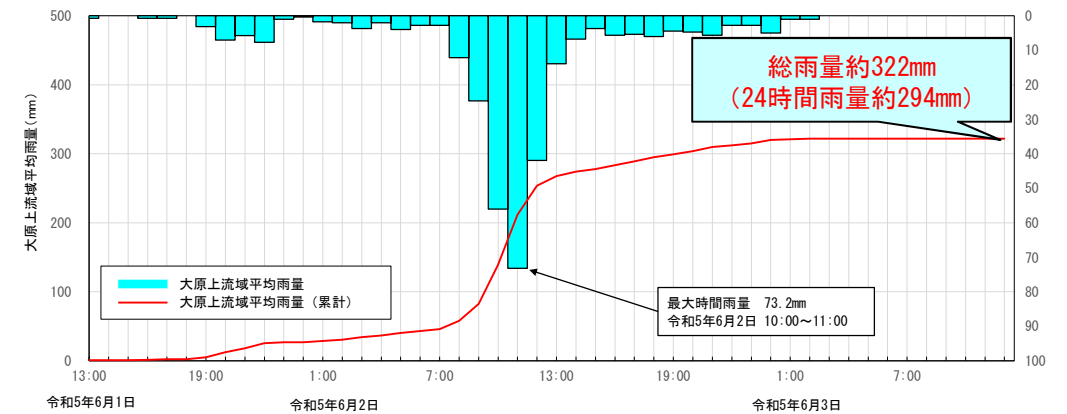
■ 桑野川 大原地点(6月2日14:00 水位5.00m)



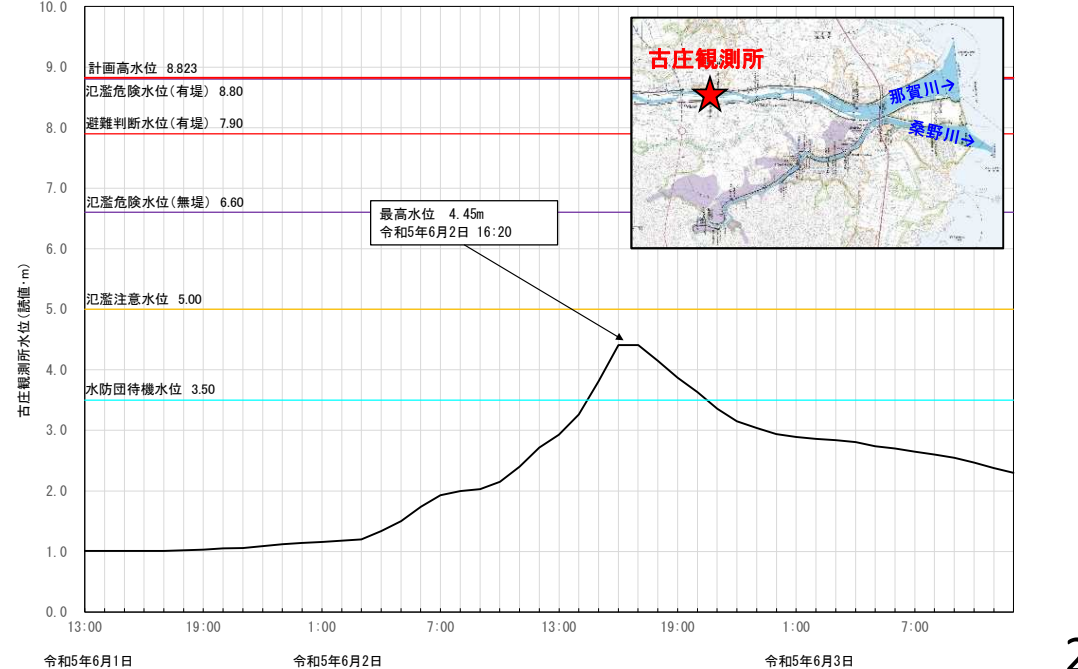
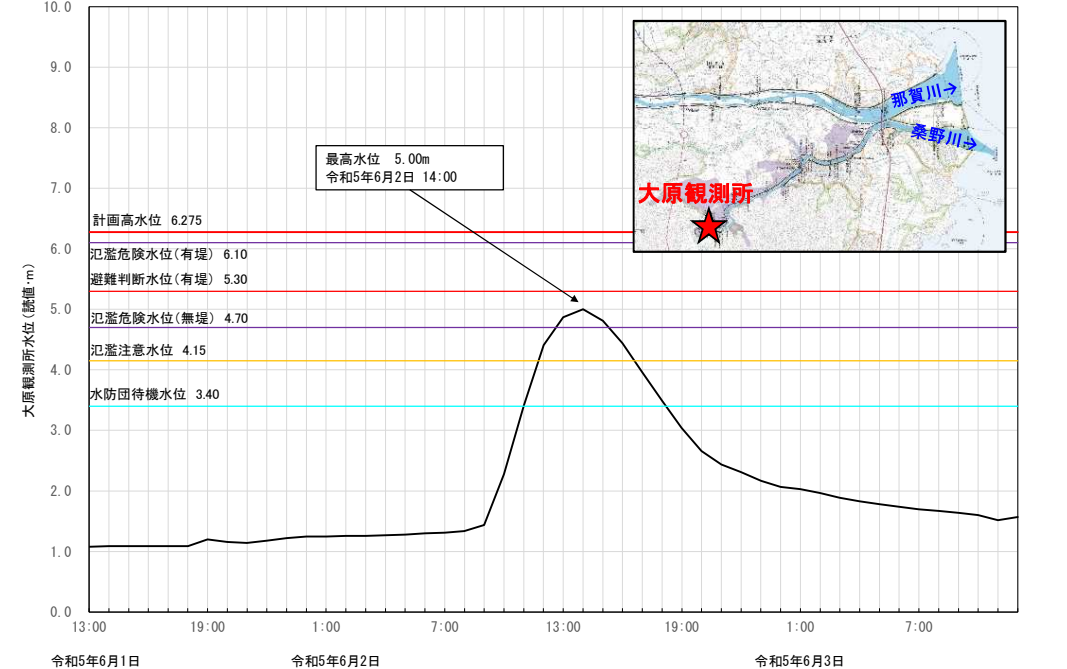
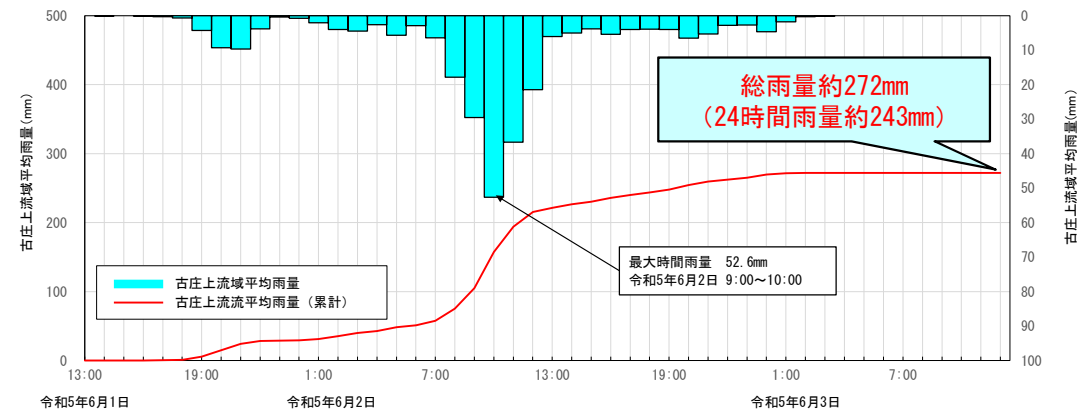
(1) 気象の概要について

- 桑野川の河川水位は、大原水位観測所において2日14時に5.00mを観測、氾濫危険水位(無堤)の4.70mを超過した。
- 那賀川の河川水位は、古庄水位観測所において2日16時20分に4.45mを観測、水防団待機水位の3.50mを超過したものの、氾濫注意水位5.00mには至らなかった。

桑野川:大原基準観測所

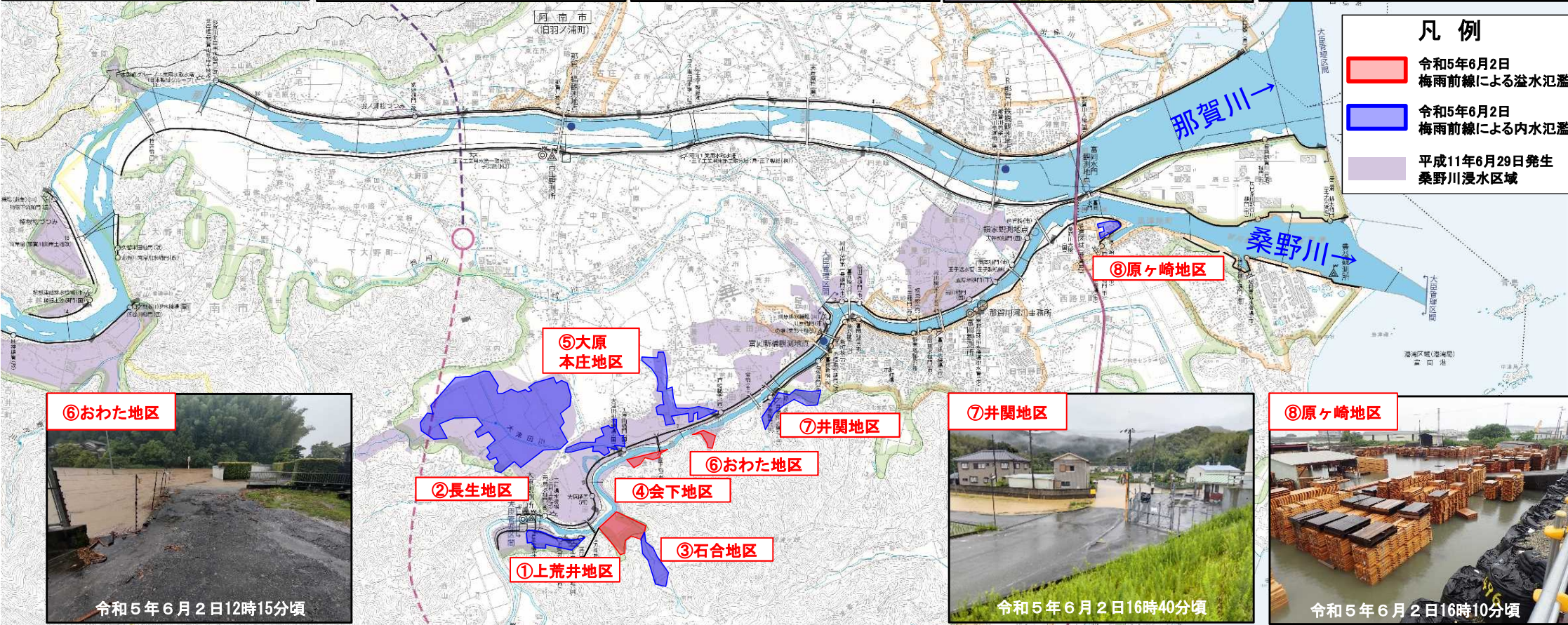


那賀川:古庄基準観測所



(2) 浸水被害状況図【令和5年6月2日梅雨前線】 那賀川水系桑野川

● 桑野川では阿南市本庄地区、大原地区等8地区で、内水により約103ha、外水により約13haの浸水被害が発生したが、家屋浸水はなかった。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1、5万分1地形図を複製したものである(承認番号 平29情複、第1548号) ※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査により変わる可能性がある。なお、原ヶ崎地区は排水ポンプ車作業員への聞き取りにより算出。(痕跡調査未実施)

(3) 梅雨前線での取組(排水機場稼働状況)

- 6月2日、梅雨前線による降雨に伴い河川の水位が上昇。
- 那賀川河川事務所では、桑野川本川での内水氾濫による浸水被害を防ぐため、水門・樋門の操作を確実に実施するとともに、排水機場の稼働により、約440千m³(25mプール約1,110杯分^{注1)})の排水作業を行い、浸水被害の軽減を図った。

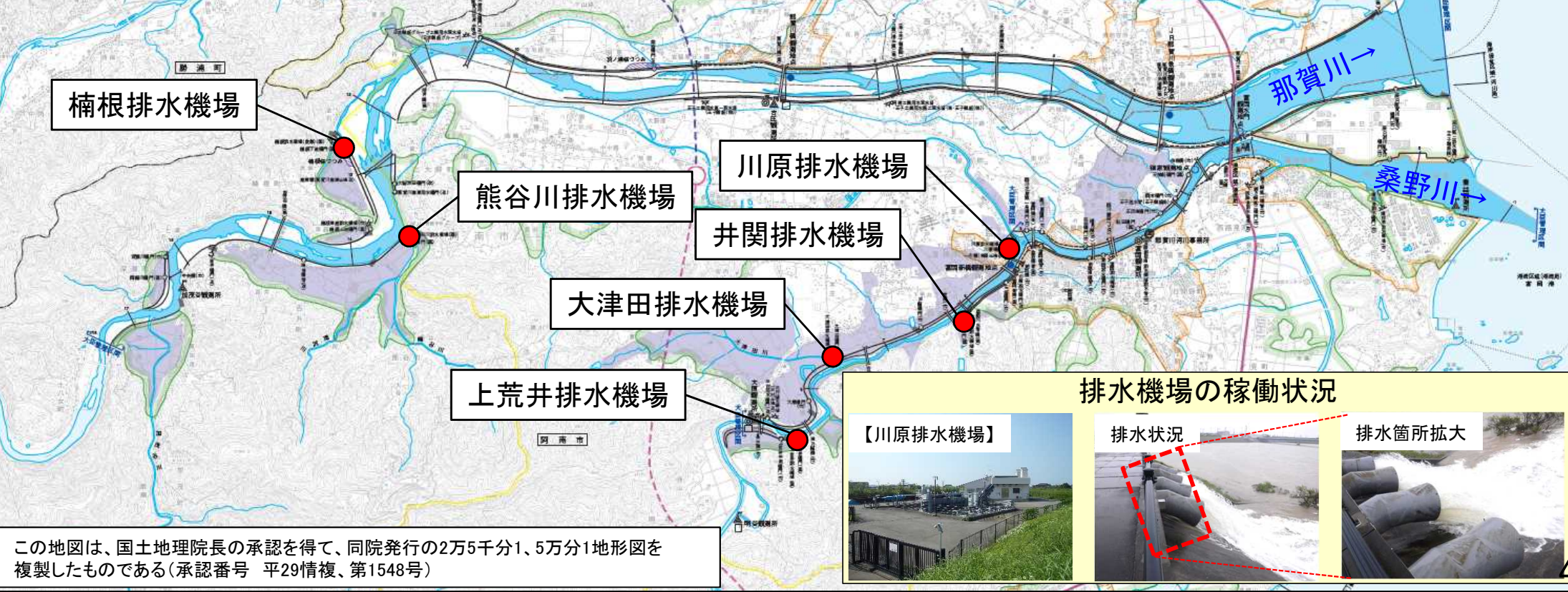
排水機場の稼働状況

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査により変わる可能性がある。

注1)25mプールは「長さ25m、幅16m、深さ1m」として換算

排水機場名	位置	ポンプ規模	稼働時間	備考	
那賀川	クスネ 楠根排水機場	那賀川左岸(楠根下流地区) 12.5km付近	2.0m ³ /s	6月2日 13:08~17:47	約34,000m ³ を排水
	クマタニガワ 熊谷川排水機場	那賀川右岸(吉井地区) 13.6km付近	5.0m ³ /s	6月2日 13:01~16:33	約64,000m ³ を排水
桑野川	カワハラ 川原排水機場	桑野川左岸(川原地区) 5.2km付近	5.0m ³ /s	6月2日 12:09~17:58	約73,000m ³ を排水
	イセキ 井関排水機場	桑野川右岸(井関地区) 6.2km付近	0.3m ³ /s	6月2日 10:49~17:59	約7,000m ³ を排水
	オオツダ 大津田排水機場	桑野川左岸(大津田地区) 7.6km付近	10.0m ³ /s	6月2日 10:51~17:30	約239,000m ³ を排水
	カミアライ 上荒井排水機場	桑野川右岸(上荒井地区) 8.6km付近	0.6m ³ /s	6月2日 10:22~0:13	約25,000m ³ を排水

凡例
● : 排水機場



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1、5万分1地形図を複製したものである(承認番号 平29情複、第1548号)

(3) 梅雨前線での取組(排水ポンプ車稼働状況)

● 那賀川河川事務所では、桑野川本川での内水氾濫による浸水被害を防ぐため、排水ポンプ車を配備・稼働し、約40千m³(25mプール約100杯分^{注1)}の排水作業を行い、浸水被害の軽減を図った。
 (那賀川:排水ポンプ車1台、排水ポンプ装置1台 桑野川:排水ポンプ車2台)

排水ポンプ車の配備・稼働状況

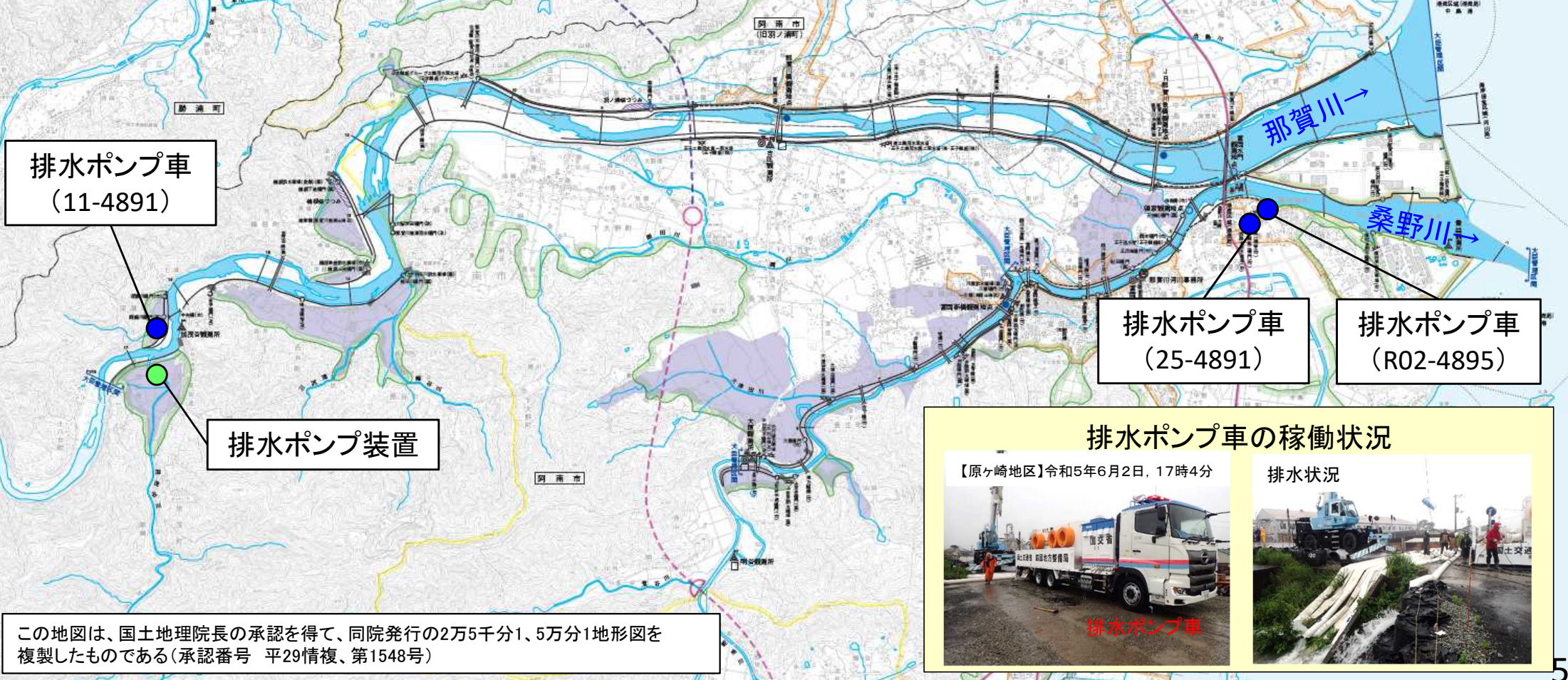
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査により変わる可能性がある。

注1)25mプールは「長さ25m、幅16m、深さ1m」として換算

排水ポンプ車(装置)	位置	ポンプ規模	稼働時間	備考
那賀川 排水ポンプ車(11-4891)	那賀川左岸(深瀬地区岡崎川樋門) 16.3km付近	2.5m ³ /s		事前配備のみ
排水ポンプ装置	加茂谷川右岸(加茂地区加茂谷右岸樋門)	0.5m ³ /s		事前配備のみ
桑野川 排水ポンプ車(25-4891)	派川那賀川右岸(原ヶ崎地区) 1.6km付近	0.5m ³ /s	6月2日 13:11~18:00	約3,000m ³ を排水
排水ポンプ車(R02-4895)	派川那賀川右岸(原ヶ崎地区) 1.7km付近	1.0m ³ /s	6月2日 16:45~2:35	約35,000m ³ を排水

凡例

- : 排水ポンプ車
- : 排水ポンプ装置



排水ポンプ車
(11-4891)

排水ポンプ装置

排水ポンプ車
(25-4891)

排水ポンプ車
(R02-4895)

排水ポンプ車の稼働状況

【原ヶ崎地区】令和5年6月2日、17時4分

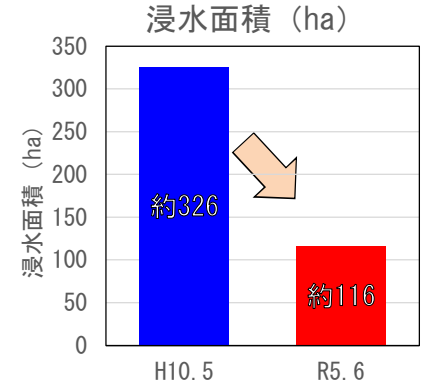
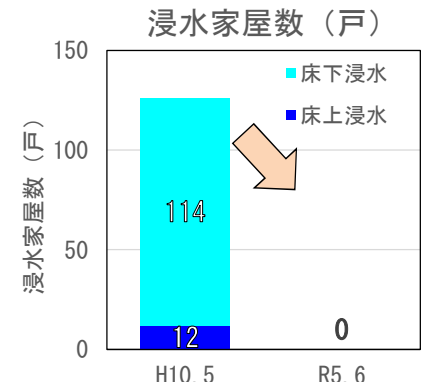
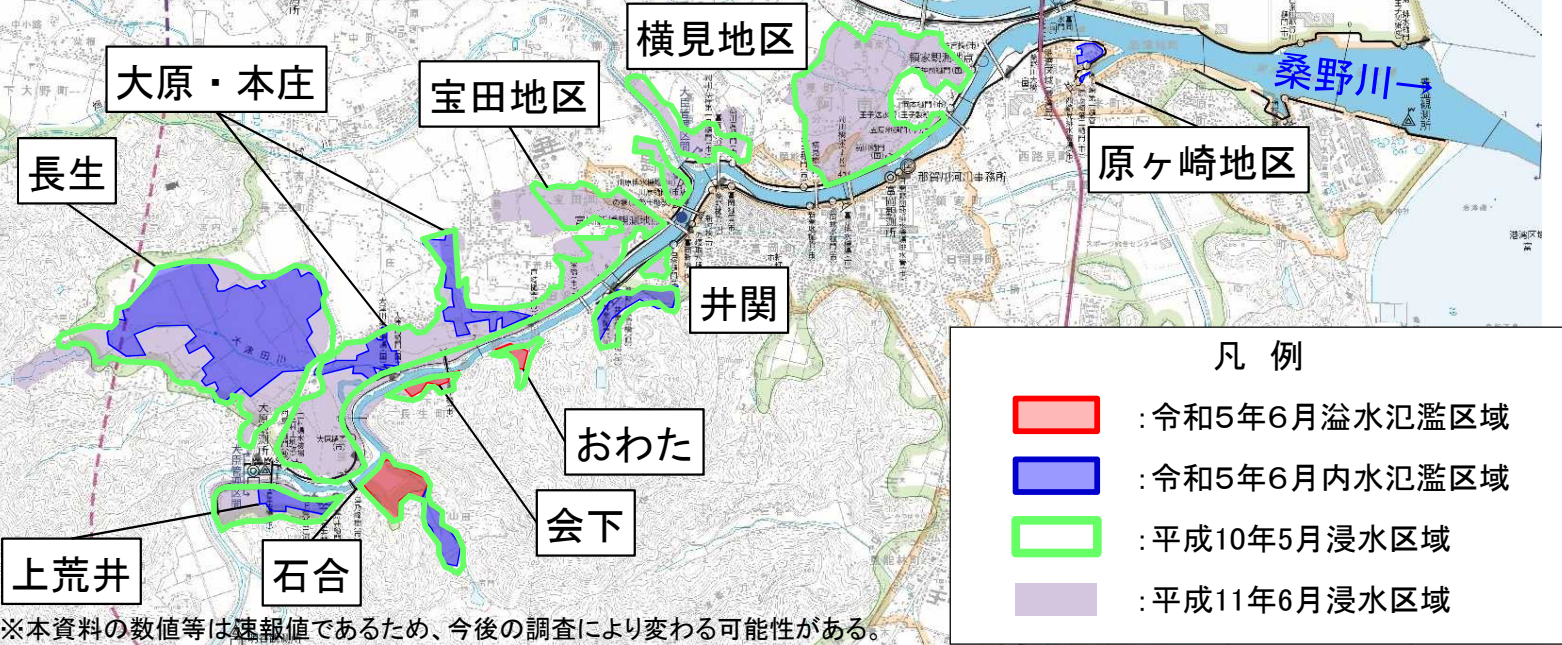
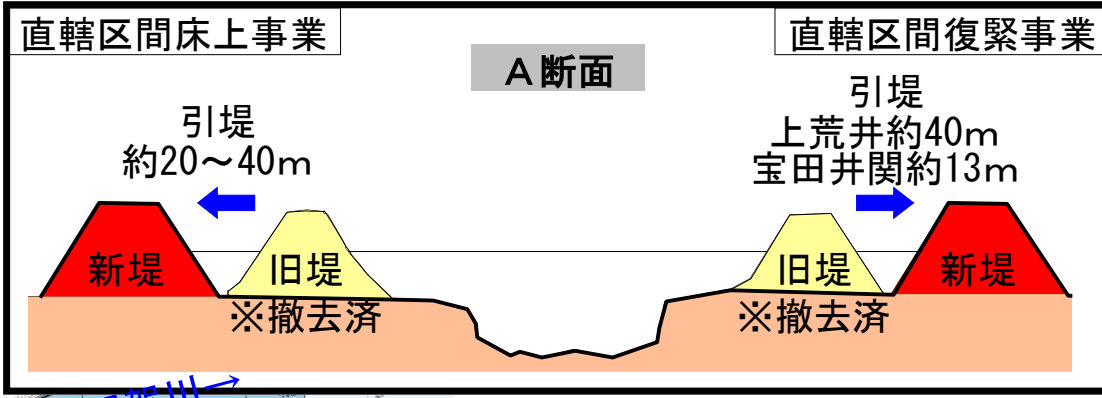
排水状況



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1、5万分1地形図を複製したものである(承認番号 平29情複、第1548号)

(4) 桑野川床上浸水対策特別緊急事業の効果

- 桑野川流域では、令和5年6月の梅雨前線による豪雨により、大原上流域平均雨量における累計雨量は約322mm(24時間雨量約294mm)、最大時間雨量は73mmを記録。
- 今回と同規模の平成10年5月洪水と今回を比較すると、浸水面積(約326ha→約116ha)、浸水戸数(126戸→0戸)を大幅に軽減。
- 桑野川床上浸水対策特別緊急事業(引堤+排水機場整備)の効果により河川水位の上昇を抑え、洪水を安全に流下させることが出来た。



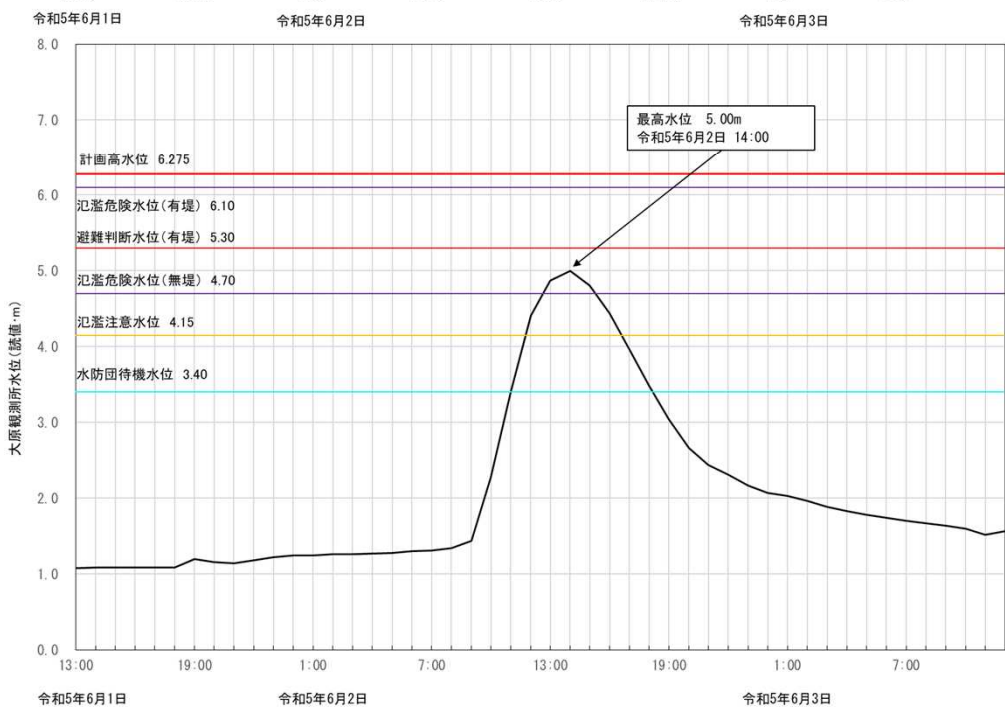
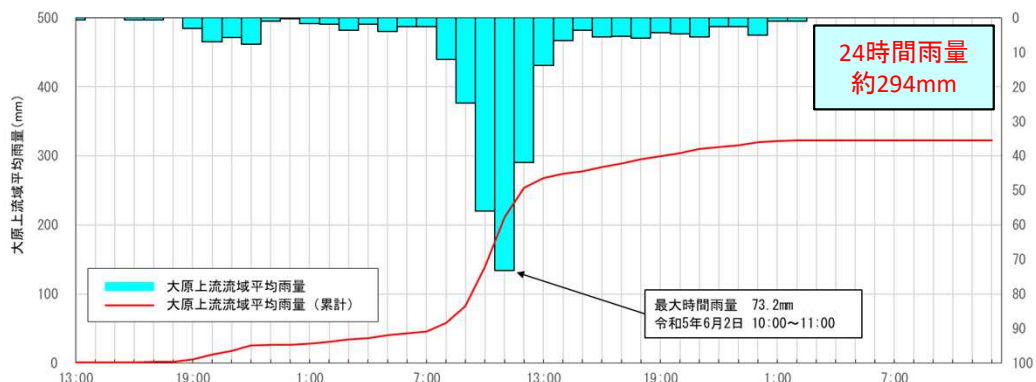
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査により変わる可能性がある。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1、5万分1地形図を複製したものである(承認番号 平29情複、第1548号)

(5) 過去に発生した同規模洪水との比較

● 令和5年6月梅雨前線の24時間雨量は平成10年5月前線と同程度だったが、桑野川床上浸水対策特別緊急事業等(引堤+排水機場整備)により家屋浸水が解消された。また、川幅が拡幅されたこともあり、河川水位の上昇は小さかった。

今回(梅雨前線: 令和5年6月1日~3日)



平成10年5月前線における洪水

